

① 梁吊ピースを入力したい！

二次部材の「梁吊」から入力できます。

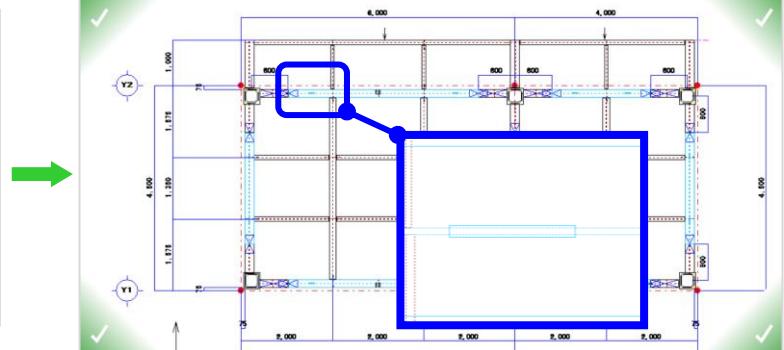
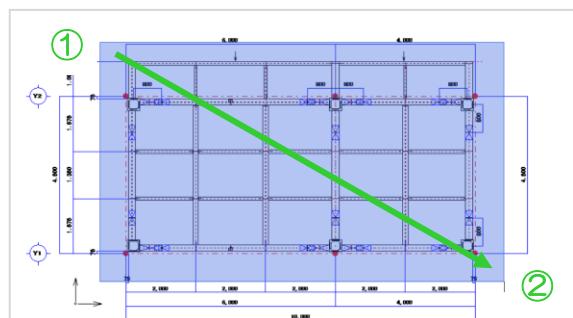
【梁吊】 - 【一括入力】: 複数の梁に一括で吊ピースを配置します。

例) 2SL 階の全ての大梁に吊ピースを配置する場合

【二次部材】 - 【梁吊】 - 【一括入力】をクリックし、入力シートの各項目を設定します。



2SL 階全体を範囲選択すると、入力シートの【配置対象】で「大梁」のみを選択しているので大梁のみ選択され
梁吊ピースが表示されます。



四隅の□をクリックして確定します。



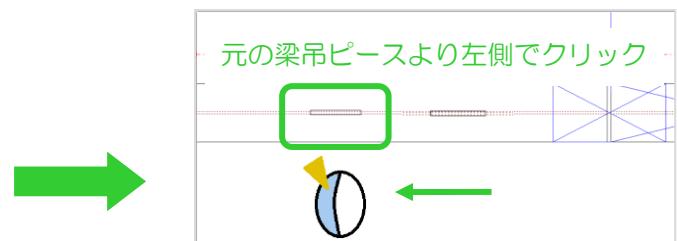
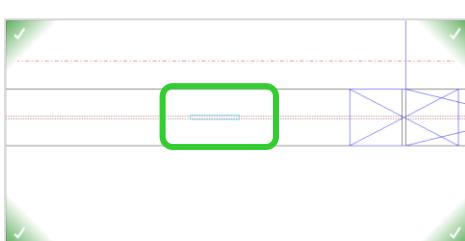
【梁吊】 - 【一括入力】での配置時の間隔は仮設金物マスターの設定を参照します。

配置後に梁吊ピースの間隔を修正する場合は【梁吊】 - 【ピッチ移動修正】で修正します。

例) 左側に『200』移動させる場合

移動させたい梁吊ピースを選択し、四隅の□をクリックします。

【間隔】に移動量を入力し、移動させたい方向でクリックします。



項目名	設定値
間隔	200

⚠️ 梁吊ピースを入力したい！②

二次部材の「梁吊」から入力できます。

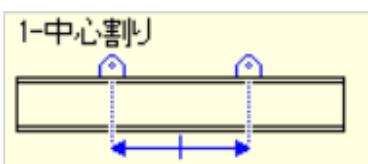


【配置対象】では『大梁』『小梁』『プレース』『ブラケット』『剛プレース』から配置する対象を選択することができます。複数選択をすることも可能です。

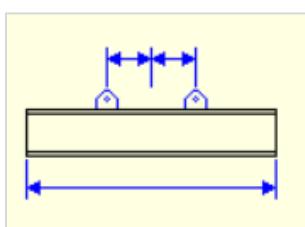
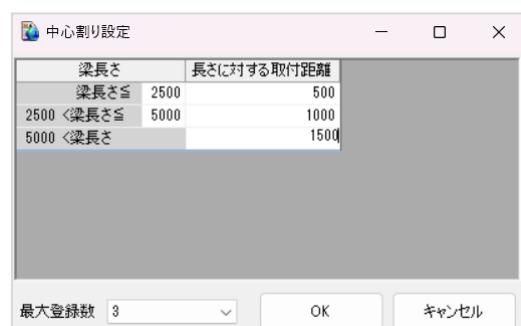


【一括入力】の場合、梁吊ピースのピッチは【仮説金物マスター】での設定値を参照します。

《中心割り》 中心からの割振り距離を設定します。



例) 長さ 4000 の梁に中心割りで吊ピースを配置する場合
2500 < 梁長さ <= 5000
が該当します。
よって、取付け距離は
中心から 1000 となります。



《端部距離》 端部からの距離を設定します。



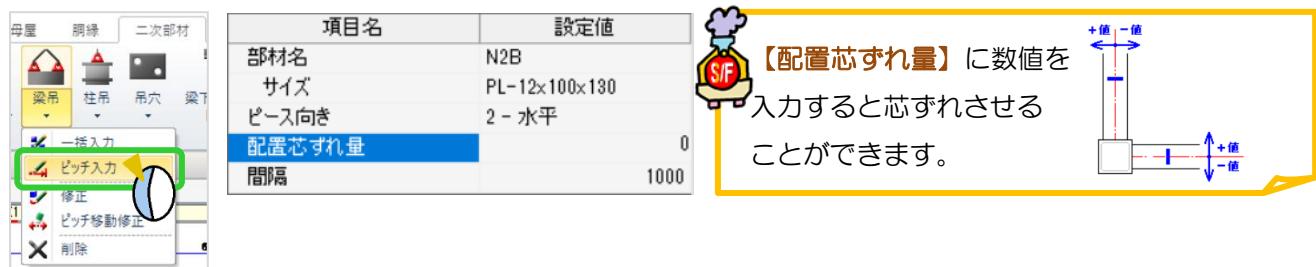
③ 梁吊ピースを入力したい！③



【梁吊】 - 【ピッチ入力】 : 梁に個別に吊ピースを配置します。

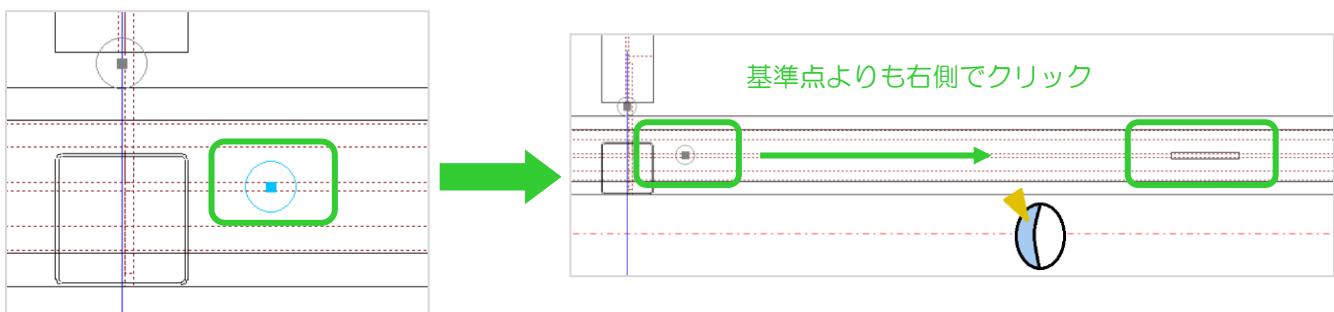
例) 大梁に中心から右に『1000』の位置に吊ピースを配置する場合

【二次部材】 - 【梁吊】 - 【ピッチ入力】をクリックし、入力シートの各項目を設定します。



梁やプラケットの端部と中心に、基準点のグレーの丸が表示されます。

配置の基準にする基準点のグレーの丸をクリックし、基準点から取付けたい方向をクリックして配置します。



【二次部材】 - 【かさ上げ材】 - 【修正】でかさ上げ材を選択し、入力シートの『吊ピースの取付位置』を変更してください。



3-分割を選択した場合、吊ピースとかさ上げ材のすきまは【パラメーター】 - 【二次部材作成】 - **【47.かさ上げ材】**
3) 吊ピース(直交)とのすきま (mm)
4) 吊ピース(平行)とのすきま (mm)
を参照しています。

また、5) 吊ピース切断時のプレートを2-ありにすると、継手部と同じプレートを配置することができます。

1.なし

2.あり

